

# 市政フラッシュ

6/24

## 男女共同参画社会を目指して



6/24～6/28の一週間、市役所ロビーにて男女共同参画週間パネル展を開催し、男女共同参画社会基本法や市女性団体連絡協議会の活動を紹介するパネルなどを展示しました。24日のオープニングセレモニーでは、男女共同参画に関する寸劇をとおり、男女共同参画社会について考えるよう呼びかけました。

6/26



災害準備及び災害対応のための在日米軍の施設及び区域への限定された立入りについての現地実施協定の標準運用手順締結式が、普天間基地内で行われました。佐喜眞市長と海兵隊普天間飛行場司令官ジェイムズ・G・フリン大佐は、自然災害発生など立入り条件やゲートの立入り手順などを定めた締結書に署名を行いました。

6/26

## JICAボランティアとして海外へ



国際協力機構（JICA）のボランティアとしてエチオピアへ派遣される伊波彩織さんが佐喜眞市長を表敬訪問しました。伊波さんは7月から約2年間、現地の小学校教諭として活動します。伊波さんは、「子どもたちに図工、音楽や体育等の情操教育を現地の教員とともに頑張りたい」と話しました。

7/18

## 全国消防救助技術大会へ!



県大会で1位となり、8月の全国消防救助技術大会の「はしご登はん」の部へ出場する宜野湾市消防本部の崎浜隆作さんが、全国大会へ向け訓練を重ねています。崎浜さんは、「日頃の訓練の成果を発揮して、優勝を目指して頑張ります」と抱負を語りました。

7/23

## オスプレイ配備反対宜野湾市共同声明発表及び抗議行動



昨年開催したオスプレイ配備等に反対する「宜野湾市民大会」実行委員会幹事会（市内7団体の代表者）は、8月上旬に予定されている普天間飛行場へのオスプレイ追加配備計画について、記者会見を開き「市民は、これ以上の基地負担を断固として拒否する」と配備撤回を求める共同声明を発表しました。さらに、佐喜眞市長を先頭に米軍をはじめ県内の関係機関を訪ね、配備中止を強く求めました。